

いつもロシナンテスを応援してくださり、 誠にありがとうございます。



村人との巡回診療ミーティングでの一コマ

遠回り

《第14号》

認定NPO法人ロシナンテス
日本事務局発行

〒802-0082
北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館 7F
TEL:093-521-6470
E-Mail:info@rocinantes.org

特定非営利活動法人ロシナンテス
ROCINANTES

10年の節目

2006年の4月にロシナンテスは団体として内閣府から認証を得ましたので、そこを起点とすると、スーダンでの医療活動が10年になります。また、2011年には東日本大震災が起こり、緊急医療支援から始まり、東北被災地での活動は5年目ということになります。皆様方の温かいお気持ちがあつてこそ、活動を継続することが出来たと改めて思い、感謝の念に堪えません。

この節目となるときに、これまでを振り返り、修正すべき点を見なおし、これから目指すべき方向に皆様方と、共に歩んで参りたいと思います。

スーダン 自立と共助

スーダン東部ガダーレフ州において行ってきた医療活動、その医療を通じて見えてきたその地域の問題点までも解決しようとする努力がまいました。井戸掘りなどの水事業、女子小学校の建設など、地域の方々、その行政と一丸となって事業を行いました。今は、ガダーレフを離れましたが、そのフォローアップを行うこ

とはとても大切です。

そこでは、今でもスーダンの地域の人たちによって診療所、給水所、学校などが運営されています。その現場には、我々が気付くこと、我々が学ぶことが、多くあります。良い意味で、今までの活動地の方々とはお付き合いをして参ります。

また、サッカーをはじめとして、文化的な支援まで、スーダンを応援しようという気持ちから、幅広く活動を行ってきました。また、在外公館での経済・文化協力を進めているようでしたが、我々のような小さな団体は、身の丈を知ることが必要です。サッカー事業は、保護者会を結成し、また、ハルツーム大学の中央図書館に建設した和室の「無東西」は、大学に運営をそれぞれ委ねています。いつまでもロシナンテスが支援するのではなく、それぞれが自立して、お互いに協力し合う関係にしていきます。

新しい医療の形

今後は、現在行っている巡回診療で、医療インフラの整っていない地域での医療をどう行っていくべきかを再度、深くスーダンの方々と共に考えていきます。広大な土地に散在して人々が住むあらゆる地域に、従来考えられていた医療インフラを整備することは不可能に近いことです。そこで、既存にない新たな医療を、本当に困っている現地の方々と一緒に模索して参ります。案

外、コンプスの卵みたいなことが起きるかもしれません。地域住民と共に考える医療です。日本にも応用が利くかもしれません。そのような新しい医療を目指して参ります。

東北被災地支援の今後

東北は、震災から5年を迎えようとしています。今までに1,500人以上のボランティアの方々が我々が拠点とする名取市にあった初代ロッシーハウス、また現在亘理町にある二代目ロッシーハウスまで足を運んでくださいました。直接、東北に足を運んでくださった方々に御礼を申し上げるとともに、多くの方々からの御支援があり、東北での活動が継続できて参りました。心より感謝申し上げます。

亘理町では、一時的な仮設住宅から恒久的な災害公営住宅に移り住んでおり、町の行政から一つの区切りとの考えを頂きました。このような状況の中、東北での活動を継続するか否か議論してきました。現在行っている「健康農業」は亘理町から、「寺子屋」は教育委員会からの委託事業であり、それぞれ厚生労働省、文部科学省からの助成で運営され、町から区



「健康農業 亘理いちご畑」収穫祭の一コマ

理事長 川原尚行

切りとの考えを示されている現状を鑑みて、残念ながら継続支援は難しいとの判断に至りました。しかし、スーダンと同じく、東北のこの地域の方々との御縁を一生大事にしていきます。東北の方々から教えられたことが、本当にたくさんあり、我々が支援しているのか、逆に励まされているのか、逆になくなりました。東北の方々には、「如何に生きるか」を、学ばせて頂きました。東北での活動は来年の3月を持って終了と致しますが、ここで得た経験を今後の我々の活動に活かして参ります。この状況を御理解いただき、今後のロシナンテスの活動に引き続き御支援を頂けますと幸甚に存じます。

スーダンに病院を!

いつもロシナンテスにご支援くださりまして誠にありがとうございます。さて、ついに巡回診療を行っている地域に診療所を建設することになりました。これは将来の病院建設という壮大な目標への第一歩です。私たちの思いやりを一つ一つ重ね、みんなの小さな力を結集してスーダンに診療所を建設しましょう!

以下、理事長・川原尚行がみなさまへ趣意をしたためております。

村の子供たちに囲まれる川原



背景

ロシナンテスは現在、保健省と協働し、3つの地域で巡回診療を行っています。各地域には約30の村々が点在し、それぞれに約20,000人の住民が生活しています。最も遠いところで100kmも離れています。

3つのチームが月に1回、2週間、泊まりがけで巡回します。ここの住民にとっては、ひと月にたった一度の診療です。これはこれでとても大切なことですが、次に受診できるのは一ヶ月後です。

病気は待ってくれない

住民は、常に医療が提供できる診療所を必要としています。診療所が建設されれば、その地域の住民には毎日医療が提供され、巡回診療の対象でなくなります。そのことにより、巡回診療チームは他の地域に、今までよりも手厚く、時間をかけて医療を提供できるようになります。

住民の健康を守る診療所

巡回診療を行っている3つの地域の一つ、ウッドアブサーレ地区に3つの診療所の建設を計画しています。地域住民と保健省を交えて話し合いを重ね、次の3つの村を候補地としました。

- ①アルセリアア村 ……………人口5,000人(周辺含む)
- ②アルハムダ村……………人口3,000人(周辺含む)
- ③ウッド・シュウエイ村 ……人口2,000人(周辺含む)

保健省は、診療所が完成した暁には、医療スタッフを派遣すること、地域住民に研修する機会を作り診療所のスタッフとして働けるような環境づくりをすることを快諾してくれました。

また、地域住民とも話し合いを行っています。診療所の建設は、ロシナンテスや日本のみなさんの援助だけではなく、地域の住民も参加してみんなで建てることに大きな意義があると思います。彼らは土や砂利、レンガなどの材料を運ぶ労働力の提供で貢献してくれます。

土とレンガの診療所

スーダンの診療所は日本のそれとずいぶん違います。信じられないでしょうが、土とレンガで建設します。

まず土を掘り、その中に大きな土石を入れ基礎を造り、その上にレンガをひとつひとつ積み重ねていきます。レンガとレンガのつなぎは土に水を含ませた泥です。鉄筋は使用しません。強度の確保と熱を遮断するために、レンガを横に並べ何層もの構造にして厚い壁にします。

アフリカの大地が生むレンガ

土に水を混ぜた泥を木枠で型どったものを天日に干します。日干しで固まったレンガを大きな窯で素焼きにしてレンガは完成します。アフリカの大地である土から、人々の手を通して、赤黒いレンガが出来上がります。

みんなでレンガを積み重ねる

5月に出版した「行くぞ!ロシナンテス」にスーダンのレンガを青空にさせた写真があります。この土でできたレンガを一つ一つ積み上げていき、診療所は建てられます。今回計画している3つの診療所の建設を、皆様方と一緒にやって行きたいのです。

皆様方一つ一つレンガを積み上げていくところを想像してみてください!

実際にスーダンへ来てレンガを積み上げることは不可能ですが、それをロシナンテスが代行いたします。

建設費用

「行くぞ!ロシナンテス」の印税は全額これらの診療所の建設費に充てられます。初版が8,000部、二版が3,000部、合計で11,000部が発行されました。この印税が126万円で、たいそうなレンガになるのですが、これだけでは診療所の一軒分にもなりません。しかし、時は待ってられません。

現在、本の印税の他にアーティストの浜田省吾さんのファンクラブからなる「J. S. Foundation」からの支援で、一つ目の診療所の建設を開始しました。建設費用は約1,000万円です。

3つの診療所を建設するには合計で、3,000万円が必要です。「行くぞ!ロシナンテス」が二十万部のベストセラーになれば、診療所の建設は印税のみで可能となりますが、我々の力不足でそこまでには至りません。

建設資金ご協力をお願い

皆様方に診療所レンガ基金として、一口3,000円でご支援を賜りたいと存じます。本当ならば、実物のレンガをその証として、皆様のお手元にお届けしようと思っていたのですが、NGOが基金集めのためにレンガを海外に輸出することは、当局からの許可を得ることができませんでした。

しかし、皆様方のお気持ちを、スーダンのへき地に診療所という形に変えて、無医村地域に医療を届け、地域住民の健康を維持し、笑顔広がる未来へつなげてまいります。

川原尚行



他の地域の診療所を視察

お友達やご近所に、スーダン支援のバトンをつなぎませんか?

このたび診療所建設資金のためのプロジェクトを立ち上げました。今回のプロジェクトでお願いしたいのは、建設費のご支援です。ロシナンテスを知らない方でも、国際支援は初めてという方でも、参加しやすいプロジェクトになっています。支援の輪を広げるという形でのご協力も、ありがたいご支援となります。(同封のリーフレットをご活用ください)プロジェクトの一員となって、スーダン支援のバトンを周りの方につないでいただけませんか?



診療所はこのレンガを積み重ねて建てます!

土とレンガの診療所プロジェクト 説明会開催

あなたの気持ちがレンガとなり、スーダンのへき地に診療所が建ちます。

いつもご支援いただいているみなさまへ、プロジェクトの説明会を開催いたします。活動報告、診療所建設の詳細、「1口3,000円」のレンガが出来るまで、そして時差のあるスーダンと日本を生中継します。モニターを通じてスーダンを感じてください。みんなで集まって、有意義な意見&情報交換をしましょう!ご多用中とは存じますが、多くのご参加をお待ちしております。楽しい会にしましょう!

ロシナンテス川原尚行 講演会 in 横浜

横浜で講演会を開催します。お近くにお越しの方は、是非お誘い合わせの上ご参加ください。日時/2016年2月9日(火)<夕方・時間未定> 場所/横浜開港記念会館 詳細は、HP・Facebookでご確認ください。お申込みは右記まで

■ 福岡会場 日時/2016年1月24日(日) 13:30~15:00 場所/福岡県NPOボランティアセンター会議室

■ 北九州会場 日時/2016年1月31日(日) 13:30~15:00 場所/北九州市立商工貿易会館501会議室

■ 東京会場 日時/2016年2月11日(木・祝) 13:30~15:00 場所/マッシュアップスタジオ(文京区湯島)

ご参加申込は、ロシナンテス日本事務局へ TEL 093-521-6470(平日10:00~17:00) info@rocinantes.org

東北だより

東北事業部のこれから

東日本大震災が発生してから4年と半年が経過しました。来年の3月でまる5年になります。ロシナンテスは震災直後から、主に宮城県名取市、岩沼市、山元町、そして亶理町の被災地支援を開始し、2012年の年末に名取市から亶理町に事業所を移し、活動を続けて参りました。その亶理町では予定されていた災害公営住宅の建設がすべて完了し、仮設住宅の入居率は11・8%（平成27年10月末時点）まで減少しました。

政府は平成27年度までの5か年を「集中復興期間」とし、その後の5か年を「復興・創生期間」と定め、平成28年度以降の被災地支援は、その事業によっても異なりませんが、原則的に各地方自治体にも一部負担するように求めています。このように、時の経過とともに被災地やそれを支援する私たちが取り巻く環境がどんどん変化していきます。今号では東北事業部の主な活動の現況と今後を報告いたします。



災害公営住宅(集合型)

①「健康農業 亶理いちご畑」この活動は亶理町を通じて厚生労働省から事業を受託する形で継続・発展させてまいりました。前述のことから、亶理町は被災者支援としての本事業は今年度をもって終了するとしていきます。ですから、現在の形での「健康農業」は2016年3月をもって終了することとしています。現在「健康農業」に参加している高齢者の方々が、たとえ形は変わっても、来年4月以降もこれまで通り仲間との交流が継続できる方法を参加者のみなさんと共に模索しています。

②「寺子屋」「寺子屋」事業は仮設住宅に生活する小中学生を対象とした学習支援です。「寺子屋 亶理」は、寺子屋に通う子供たちが全員仮設住宅から移転したので、来年3月をもって終了する予定にしております。「寺子屋 閉上」は、寺子屋に通う子供たちのうち若干名が仮設住宅で暮らしています。塾長の工藤博康さんが、来年度以降も仕事の合間を縫って継続していく予定です。

これまでロシナンテスは、みなさまからの温かいご寄附や助成金、あるいは国の復興事業の委託金で東北被災地の支援活動を行ってきました。しかし、前述のとおり来年度から地方自治体が被災者支援等の事業費を一部負担することから、ロシナンテスが運営する支援事業は残念ながら終了することとなりました。

多くの方に「被災地支援をいつまで続けるのか？」と幾度となく訊かれました。一番答えに窮する質問でした。特に、二年目三年目はまだまだ復興の兆しが見えない状態でしたので、先のことを考えられる時期ではありませんでした。しかし、これからは被災地のみなさんが立ち上がり、自らの足で復興に向けて歩いてゆかなければならない時期に差し掛かったように思います。地域住民の方々話し合いながらバトンを渡してゆこうと考えています。

東北事業部長 大嶋一馬

健康農業

春から秋までの活動

「健康農業 亶理いちご畑」の活動は今年で3年目に入りました。天候に恵まれた今年は、作物も順調に成育し季節ごとにいろいろな農作物を収穫しています。

6月は昔ながらの露地栽培のイチゴが実を結び濃厚な味わいを皆で楽しみました。7月に入るとジャガイモが収穫期を迎えキタアカリやメークインを350kg収穫することが出来ました。そしてこの夏、東北地方は猛暑に襲われました。

連日30度を超す日が続き、テントで日陰を作りながら熱中症に気をつけて活動し、作業終了後に収穫した冷たいスイカを皆でほおばり、活動の疲れを癒しました。実りの秋10月は、枝豆、小豆、そしてサツマイモの収穫と、連日参加者の皆さんの歓声と笑顔が畑にあふれています。

新しい生活へ

畑での元気な活動とは反対に、この春はこれまでなかった心配事がありました。仮設住宅から災害公営住宅等へ移転後に体調を崩す参加者が増えたのです。高齢者にとって移転という環境の変化は、これからの生活に対する大きな不安に繋がります。移転が始まった当初の高齢者を取り巻く環境は

とても厳しい状況で「部屋と郵便ポストの往復以外は室内で過ごす事が多く、仮設住宅に住んでいた時よりも引きこもりになってしまった」との声を聞きました。現在では、災害公営住宅が既存の自治会へ編入したため、ゆつくりですが新たなコミュニティの構築が始まりました。



昔ながらの露地栽培いちごが実り、笑顔がこぼれます

これを受け、災害公営住宅に移転された方と近隣にお住いの方との交流イベントを亶理町内の3ヶ所で開催し、新しいコミュニティ作りの支援を進めています。

平成25年1月から活動を開始した「健康農業 亶理いちご畑」の

これからの健康農業

活動ですが、震災5年目を迎えた今年度で亶理町からの被災者支援としての事業の終了を受け、残念ながら現行の形での活動は来年の3月末で終了することになりました。

しかし、これまでの活動を通して「健康農業」事業が、高齢者の方の健康維持や生きがい作り、また孤立の防止にとっても有効な活動と確信しています。今後は健康農業でこれまでに築いたコミュニティを参加者のみなさんで継続出来るように模索していきます。

健康農業 亶理いちご畑
平林由紀夫

寺子屋 閉上の今と未来

ゆりあげ

「誰かあいさつしたい人？」私が
そういうと、「先生、僕があいさつ
したいです」と小学2年生のA君
が手を挙げた。

「じゃあA君、たのむよ」

「はい！ 起立！これから寺子屋を
はじめます。よろしくお願いま
す！」すると、皆が声をそろえて、
「よろしくお願ひします！」
着席すると、5時を知らせる「夕
焼け小焼け」のメロディーが流れ
てくる。

2011年6月2日に「寺子屋
閉上」が開校してから、早いもの
で、4年半の月日が過ぎました。

仮設住宅を出て、新しい土地
で、新たな生活を始める家庭が
年々増え、それにつれ寺子屋に通
う子供たちの数も徐々に減少し
てきました。現在も、夕方にな
ると、名取市の3ヶ所の仮設住宅
で、各々の宿題に真剣に取り組む
子供たちの姿に変わりはありません。



6年生も2年生もいっしょに授業

閉上地区の復興は、津波の被害
を受けた地域の中で最も遅れて
いるのが現状です。かさ上げした
土地に、災害公営住宅や戸建住宅
ができ、閉上に戻ることができ
るのは、市の計画が順調に進んだと
しても、あと3年かかる予定で
す。閉上小学校に入学する生徒の
数も年々減少し、昨年は4名、今
年は5名でした。

現在、寺子屋に通ってきている
子供たちのほとんどは、様々な事
情から、仮設住宅を出ることが出
来ず、仮設住宅に住み続けなけれ
ばならない家庭の子供たちです。
いつも一緒に学校に通い、いつも
一緒に遊び、いつも一緒に寺子屋
に通っていた友達や、ひとり、ま
たひとりと、新しい家を建て、仮
設住宅を出て行く姿を見送らな
ければならなかった子供たちで
す。そんな子供たちの気持ちを考
えると、なんともせつない気持ち
になってしまいます。寺子屋に通
う子供たちが、全員仮設住宅を出
るまで、私は寺子屋に通い続け
つもりです。

子供たちは、人一倍辛いことも
たくさん経験したに違いありま
せんが、人一倍、世界中の人々の
優しさに触れる経験もしたはず
です。

そして、なによりも、子供たち
が震災を通して経験してきた
様々な出来事が、いつの日か、子
供たちの輝かしい未来の礎にな
ることを切に願ひながら、これか
ら子供たちと一緒に歩んでい
きたいと思っています。

寺子屋閉上 工藤博康

寺子屋 亘理の今後の展望と活動報告

7月28日・29日、第10回寺子屋
閉上・寺子屋亘理の交流会「夏山
と青空のプレーパークin花山」を
開催しました。多くの子供たちが
仮設住宅を転出したため、昨年度
の半分の12名が参加しました。友
だちと共に汗いっぱい笑顔いっ
ぱい、沢で遊んだり、森の木々を
触ったり、真っ暗な中を懐中電灯
一本で散策したり、大いに自然を
肌で感じました。仮設住宅を転出
し寺子屋に通えずにいた女の子
は「この二日間で3年分笑った
よ！」と久しぶりの仲間との時間
を存分に楽しんでいました。

2011年12月20日から4年
続いた学習支援「寺子屋 亘理」

では、今年6月に寺子屋に通う最
後の子どもが仮設住宅から転出
しました。現在は5歳児と中学
3年生まで25名が災害公営住宅
や再建した自宅から寺子屋に
通っています。

「仮設住宅は狭く勉強部屋がな
い」「隣の家の物音が気になっ
て勉強できない」などの理由から寺
子屋は始まりました。最近では
「寺子屋は生活の一部になってい
る」「一緒に頑張ってきた仲間が
いるから」と、寺子屋に通う理由
も変化しています。

多くの子どもたちが自分の居
場所として寺子屋を必要とし、継
続して通っていますので、これか
らも継続していきたい気持ちは
あります。しかし、亘理町では災
害公営住宅が全棟完了し、今年度
で被災者支援は終了と考えてい
ます。また、無料の学習支援を
ずっと続けていくことは支援過
多となり、子供たちの自立の妨げ
になりかねません。何より寺子屋
に通う子どもたち全員が仮設住
宅から転出しました。ですから、
平成28年3月をもって閉校する
予定です。

寺子屋亘理 綾田早笑



「夏山と青空のプレーパークin花山」での沢あそび

今年度いっぱいのご支援をお願い致します

誠に残念ながら2016年3月を以て活動を終
了いたしますが、最後の日まで、東北の方々に
笑顔をお届けするため、誠心誠意、活動して参
ります。短い期間ではございますが、お力添え
をどうぞよろしくお願い申し上げます。

日々の活動や
イベント情報
を更新中!



facebook.
ロシナンテス東北事業部

<https://www.facebook.com/roctohoku/>

① 同封の郵便払込票
からのお払込み

② ロシナンテス
ホームページから
のお手続き

ロシナンテス 検索

「活動を支援する」

「東北の活動に寄付をする」

年次報告書アンケート結果発表

年次報告書に同封いたしましたアンケートに郵便・FAX・ホームページから127人の方がご回答くださいました。誠にありがとうございますございました！

初の試みでしたのでお返事をいただけるのかドキドキしていました。しかし発送数日後から毎日お返事が届き、事務局では届くたびに歓喜の声が上がりました。そんな嬉しいアンケート結果をご報告します。

まずは年次報告書のわかりやすさ・デザインについて。「とても良い」が約7割、「まあまあ良い」を含めると9割超の方に良かったと感じていただけたようで、ほっとしました。

印象に残ったページ(下表参照) 北九州市最大のお祭り「わっしょい百万夏まつり」が8月1日・2日の2日間、ロシナンテスの地元北九州市で開催されました。



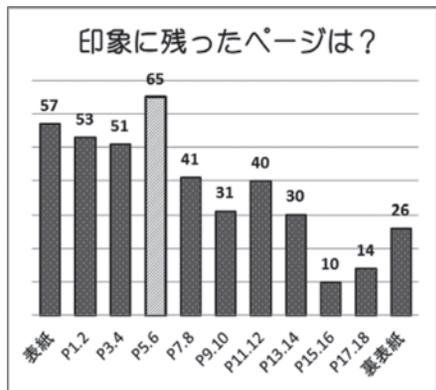
ボランティアスタッフの皆さまお疲れ様でした!

ではP5・6の「なぜ、ロシナンテスはスーダンで活動しているのか」が最多得票。スーダンの現状とロシナンテスが目指している方向をあらためて皆さまにご理解いただけたのであれば幸いです。次に多かったのは写真家・内藤順司さん撮影の表紙です。ロシナンテスの多くの広報物には、内藤さんがスーダンで川原と行動を共にして撮影した写真を無償でご提供くださっています。

「ご意見で大変多かったのは『字を大きくしてほしい』でした。今回は『写真を多く、わかりやすく!』を意識したもののお伝えしたいことがあふれてしまいました。それでも「ルーペを使いながら全部読みました」などのご意見に、申し訳なさ

ロシナンテスは今年もブーースを出店させていただき、ケバブサンドを販売いたしました。今年は何と初のロシナンテスオリジナルソース!! 不安はありましたが、「さつき食べて美味しかったからまた来たよ。」と1日に2度もご来店のリピーターさんが現れるなど、なかなかの好評をいただきました。大感激と共にホッと胸をなでおろしました。

おかげさまで2日間で900個を超えるケバブサンドを終了時間を待たずに完売することができました!! 本当に暑い中、足を運んでくださって、お買い上げ



感謝の気持ちでいっぱいです。「支援者の方に詳しくご報告したい」「ロシナンテスを知らない方にも関心を持ってもらえるように」「でも経費は抑えて」…みんな

で懸命に考え作成しています。この毎回の反省点がいつばいいます。このたびの貴重なご意見を生かして次につなげていきます。ご協力ありがとうございました!

いただいた皆様、誠にありがとうございました。また、今年もたくさんさんのボランティアスタッフが支えられ、無事に終えることができました。皆様のお気持ち、行動力なくしてこのお祭りでの成功は語れません。本当にありがとうございました。

ケバブサンドの販売で得た収益は、ロシナンテスの活動資金として大切に使用させていただきます。支援者の皆様、ボランティアの皆様のお気持ちを乗せて、これからも一歩一歩あゆんで参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

日本事務局 塩田愛

川原尚行 初の自叙伝 行くぞ!ロシナンテス 日本発 国際医療NGOの挑戦

ロシナンテス設立10年目という節目の今年、理事長・川原尚行が初の自叙伝を出版いたしました。がむしゃらに進んできた日々を振り返り、今後の方向性を見定めるため、スーダン-日本間の移動の合間を縫い、半生を振り返りながら記した川原渾身の一冊です。

出版日の5月30日。川原の地元北九州市で「出版記念販売会&サイン会」を開催しました。あいにくの雨模様の中、開始時間前から並んでくださったみなさまに迎えられ、素晴らしいスタートを切ることができました。足を運んで会いに来てくださった方々、サイン会のお手伝いをしてくだ



出版当日に並んで書籍をご購入くださった方お一人ずつにサインをする川原

さったボランティアの方々、そして場所を提供して下さった方々…初の自叙伝発売日を、地元のみなさまのあたたかいお気持ちとともに迎えることで、感謝と活動への想いを強くした記念すべき一日でした。

その後も東京・広島・北九州で「出版記念講演会」の機会をいただき、ご支援くださるみなさまと直接お会いし、本に込めた想いや今後の活動の展望等をお話しました。「診療所建設」のくだりでは、実物のスーダンのレンガをご覧いただく場面もありました。

出版記念講演会を通じ、いかに多くの方に支えられているのかを改めて実感したと同時に、ご支援くださるみなさまと共に今後も歩いていく想いを新たにいたしました。

本の出版・関連イベントに際し、本当に多くの方々にご指導・ご協力を賜りました。みなさまのお力添えに、心より御礼申し上げます。

まだお読みいただけていないみなさま、ぜひお手に取りご一読ください。よろしくお願ひ申し上げます。

日本事務局 山本明子

講演会場全員で「オー!」。振り上げた右手にはスーダンの実物レンガが!



開催した出版記念講演会

- 6月15日(月)於・紀伊國屋サザンシアター(東京)
主催/山川出版社 協力/紀伊國屋書店・ロシナンテス
- 6月28日(日)於・広島国際会議場(広島)
主催/有限会社大蔵笑 後援/中国新聞社
- 7月4日(土)於・小倉井筒屋パステルホール(北九州)
主催/ロシナンテス 協力/小倉井筒屋



「行くぞ!ロシナンテス 日本発 国際医療NGOの挑戦」川原尚行・著 1,800円(税別)/山川出版社 書籍は全国の主要書店・Amazon・講演会会場(一部)でご購入いただけます。(※10冊以上のご購入は山川出版社より直送が可能です。詳しくは日本事務局までお問合せ下さい。)本の著者印税の全額は、ロシナンテスの活動およびスーダンの病院建設費に全額充てさせていただきます。

チームメイトと後ろゼイン



さて、今年の春まで日本の高校に留学していたゼイン君のその後の近況です。スーダンに帰国後、サッカーのオリンピックスーダン代表選考の強化選手に指名され、さらに、な、なんとスーダン国内のプロサッカーチームのテストに合格し、プロ選手としてスーダンでの生活に戻りました。サッカー強豪校である九州国際大学付属高校では

ゼイン君が「文武両道」を実現

「大学生」と「プロサッカー選手」の二足のわらじ！
日本へ帰ってくる日が楽しみです！



ゼインくんだより

キャンパスで学友と中央ゼイン

若いとき苦労を買ってでもします
日本からスーダンに帰って約8ヶ月も経ちました。3年か日本にいた間にスーダンはちょっと発展したと思います。そのかわりに物は約5倍も高くなりました。物を高くすると収入も高くなるはずですが、スーダンでは収入は安いままでも物はだんだん高くなっていきます。そう考えるとスーダン何年後が大変になると思っています。
日本から帰って1ヶ月後にオリンピック代表に呼ばれました。代表に呼ばれたことにプロチームに紹介されました。5月15日に3年間プロの契約をサインしました。
勉強の方はハルツム大学に合格しました。ハルツム大学は厳しいので、勉強は大変です。英語と中国語を中心に勉強しています。大学を卒業して、国際関係の勉強を大学院でしたいです。5年後に日本に戻る前にハルツム大学でしっかり勉強します。日本に帰って、海原さんと学校の葛城先生に会いたくてたまらないです。
日本語を忘れないように川原先生に宿題をやらせています。本当に感謝します。
絶対に頑張って日本とスーダンの間に掛け橋になる目標を忘れないです。応援よろしく願います。

残念ながらレギュラーにはなれませんが、キツイ練習が功を奏したのか立派に活躍しています。そしてプロ契約の中には「大学進学及び費用負担」を交渉の末に盛り込ませ、スーダンでの大学進学をも実現させました。しかも国内トップクラスの名門ハルツム大学です。大学の勉強は大変なようですが、「サッカー業」と「学業」とを両立させ、近い将来日本の大学院へ進学したいと夢を持っているようです。また日本でゼイン君に再会できる日を皆さま楽しみにしててください。

理事 海原六郎

ロシナンテス支援者様からのメッセージ



「食と医療の連携を」
宮原隆志 さん
東京都江東区在住

川原さんの存在はあらゆる場面で、たとえ絶望の淵にいても私を勇気づけてくれました。私は22年間勤めた会社を1月に退職し、自然農による農家を志しました。森のように土壌微生物と植物が共に活かす自然環境を畑に応用した「野菜の杜」づくりをし、そこで美味しく安全でリーズナブルな野菜を生産し、その技術の普及と就農支援をするためです。これまでの経験を一切手放し「世界中の笑顔のために何が必要か」を考えた末の決断でした。川原さんをはじめロシナンテスの皆さまと参加したボランティアやイベントでの経験があつてこそその決断だと思えます。昨年のスーダン渡航では、日本と異なる食と医療の問題を目の当たりにしました。将来、スーダンで自然野菜の畑を、川原さん、そしてロシナンテスと連携して推し進めたいと願っております。



「熱男、川原さん！」
網中松美 さん
福岡県北九州市在住

ロシナンテスへの支援は川原さんの講演を聴いた5年前からです。講演を聴いて川原さんの自分の夢を叶える「パワー」に憧れ、そのために外務省まで辞めてしまう「面白さ」に魅かれました。自分自身の大病や父の介護経験から助け・助けられる関係の素晴らしさを実感したこともあり、身近で親しみを感じたロシナンテスに初めは寄付から、その後募金活動やボランティアで参加するようになりました。活動に参加して同じボランティアの方や事務局のスタッフさん、飛び込みでの募金箱設置のお願いを快く受けてくださったお店の方など、良い知り合いが増えました。大病を患ったことでしばしば内向きになることもあったのですが、以前の自分とは少し変わったような気がします。パワーあふれる「熱男」川原さん、ロシナンテスをこれからも応援していきます。

2000部限定! 卓上カレンダー2016 好評販売中!!

カレンダー販売の収益はすべて活動費にあてられます。
お早目のご購入をお願いいたします。

2016年版も卓上型のみを販売中です。写真は川原をはじめスタッフが活動や休暇の合間をぬって撮影した「素のままのスーダン」。

台座は東日本大震災の被災木材で製作しました。

「自分用以外にも購入して友人や知人に配って広報しています！」というありがたいお声もいただいています！

ご購入方法はホームページ(クレジットカード決済)とカレンダー専用郵便払込票の2種類。郵便払込票をご希望の方は日本事務局までご連絡ください。(※払込手数料は購入者様のご負担をお願いしております)

また、ポスターカレンダー(非売品/B2サイズ)を貼って、広報に協力してくださるお店や学校・病院などを募集しています。こちらも日本事務局までお気軽にお問合せください。

ロシナンテス日本事務局
TEL 093-521-6470(平日10:00~17:00) info@rocinantes.org



税込価格1,200円+送料100円
サイズ/カレンダー本体:H120×W180
両面6枚組・活動紹介ブック・木製台座・オリジナルポストカード付



お宅に眠っている『未使用切手』や『古い未使用年賀状』をお譲りください!!

みなさまのお宅の引き出しや机の奥に眠っていませんか?お譲りいただいた切手は、お礼状や「遠回り」等を発送する際に使用させていただきます。ご協力いただければ、経費削減につながり、いただいた寄附金をより有効に使うことができます。

額面や種類等は問いません。ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます!!

送付先はこちら → 〒802-0082 福岡県北九州市小倉北区古船場町1-35 北九州市立商工貿易会館7階 認定NPO法人ロシナンテス



スーダン事業部
田中香子

おつかれさまでした!

約1年間スーダンで巡回診療を担当していました。今でも炎天下の中、一生懸命働いていたスタッフの姿は目に焼き付いています。診療所再建に向けてロシナンテスの更なる活躍とスーダンの発展を祈っています。本当にありがとうございました。



日本事務局
須藤恵子

おつかれさまでした!

日本事務局で、2015年8月末までの約3年間勤務しました。総務、人事、経理等に携わりながら、スーダン事業の経産省案件、JICA草の根案件等、多くの経験を積ませて頂きました。ロシナンテスでの経験を大切にして、次の世界でも頑張っていきます。ありがとうございました。

事務局だより

年末の事務局はカレンダーや遠回りの発送作業で大わらわとなります。これまでもたくさんの方がボランティアとして助けてくださいました。今年も支援者の方々や麻生公務員専門学校の学生さんお手伝いいただき、無事みなさまの元へお届けすることができました。

ロシナンテスは今年10年目。ご寄附の払込票やメールに添えられている短くても温かい励ましのお言葉を見るたびに、みなさまに支えられてきたことに胸が熱くなり、力が湧いてきます。

事務局のスタッフは様々な形でご支援くださるみなさまのお気持ちを現地へお届けし、円滑な活動ができるよう11年目へ向かって努力していきます。これからもロシナンテスへのご支援をお願い申し上げます。

みなさまにとって2016年が素晴らしい年になりますように。
(日本事務局/吉川操)

編集後記

いよいよ巡回診療地域に3つの診療所を建設します。完成すれば、多くの方々の医療環境が劇的に良くなります。みなさまからのお気持ちをお待ちしております。

さて、この「遠回り」の内容には皆さま満足していらっしゃるでしょうか？皆さまに楽しく、且つロシナンテスの活動やイベント、お知らせなどをわかりやすくお伝えするため、全スタッフが丸となって作成しています。より良い紙面づくりのためにご意見がございましたら、ぜひお寄せください。

私たちNPO法人ロシナンテスの名前は、小説「ドンキホーテ」に出てくるドンキホーテが乗る痩せ馬のロシナンテに由来しています。「私たち一人一人は痩せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まり、ロシナンテスになれば、きっと何かできるはずだ！」と考え、「ロシナンテス」と名付けました。

今後もこれを信念として一步一步進んでいきたいと考えておりますので、皆さまのご支援をよろしくお願い致します。

ロシナンテスの活動支援のお願い

同封の「払込取扱票」にて

郵便局窓口よりご利用頂けます。

【口座記号】01720-3 【口座番号】74330

【加入者名】NPO法人ロシナンテス

【店名】一七九

HPよりクレジットカード決済でのご支援も可能です。

「遠回り」広告掲載のおねがい

「遠回り」では、広告掲載でロシナンテスを応援して下さる企業を募集しています。

① 1 枠(56×53mm) …30,000円

② 1/2 枠(56×26mm) …15,000円

お問い合わせは、日本事務局までお願いします。

東北被災地の活動を現場で率いた大嶋一馬の講演



ロシナンテスでは理事長の川原尚行をはじめスタッフによる講演活動を行っています。講演料は活動資金に充当されます。貴重な収入源の一つです。
ロシナンテスの支援活動を今後も継続させ、また発展させてゆくには、それに見合った活動資金が必要です。皆さんご存知のように、残念ながらこの2〜3年の財政状況は芳しくありません。

あなたの町に ロシナンテスを 呼んでください！



スーダンでの活動を通じて熱い思いを伝える川原尚行

講演会でロシナンテスの理事長やスタッフに直接お会いいただき、お話を聴きいただくことは、賛同者や支援者を増やす効果的な方法の一つです。
あなたの町でロシナンテスの講演会を開催してみませんか？
または、すでに企画されている講演会やイベント等の講演者にロシナンテスと呼んでいただけませんか？
日本事務局までお問い合わせください。ご連絡をお待ちします！

手軽&便利！ 長期的な活動の支えになります!!

- 1 金融機関に向かなくてよいので、ご自宅や外出先で、また休日や夜でもお申込みいただけます。
- 2 毎月や毎年一定額をご寄附いただく継続的なご支援方法があります。未来を見据えた長期的な活動の支えとなります。
- 3 設定金額は毎月1,000円(約33円/1日)からお選びいただけます。
- 4 一度のお申込みで自動引落としとなり、毎回のお手間がかりません。
- 5 その年の寄附受領書を一年分まとめてのお受け取りも可能です。(翌年1月に郵送)
- 6 手数料が比較的安価なので、より多くの金額を活動費に充てることができます。

～クレジットカードによるご寄附～

ロシナンテスでは様々なご寄附の方法をご用意しております。その中で、最近利用者の多い手軽で便利な「クレジットカード」によるご寄附の利点をご紹介します。(パソコンやスマートフォン・携帯電話などインターネット環境があればOKです)

お申し込みはホームページから

ロシナンテス 検索

www.rocinantes.org

トップページ

活動を支援する

- 活動全体に寄付をする
- スーダンの活動に寄付をする
- 東北の活動に寄付をする



御礼
クレジット決済システム変更に伴う再登録を行ってくださった皆さま、支援のご継続誠にありがとうございます!!

レシートを投函するだけ!ロシナンテスへの支援

あなたのお近くにスーパーマーケットのハローデイ(九州・山口)はありますか？ハローデイさんの「1,000万円を寄付する活動」の国際支援部門の支援先にロシナンテスが選ばれました！お買い上げレシートをお客様が投票した数(重量)によって1,000万円を6部門で按分して支援額が決定されます。

レシート投函箱は店舗入口や袋詰めカウンター付近にありますので、お買い物は、ぜひハローデイさんで♪そして、レシート投函は何枚でもOKです♪ご協力よろしくお願いします。



車と保険のダイワ

自動車部	自動車販売・修理
保険部	損害保険・生命保険代理店
商事部	輸入商品販売等

株式会社 大和興業

〒802-0066 福岡県北九州市小倉北区萩崎町9番35号
TEL:093-921-8866

がんばれロシナンテス!

税理士法人 小城会計事務所

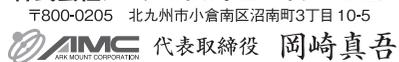
北海道旭川市東光8条1丁目1-1
TEL.0166-31-2313

ホームページ制作 & ITコンサルティング



〒800-0205 北九州市小倉南区沼南町三丁目10番5号AMC内2F
TEL 093-474-0330 FAX 093-474-0331

株式会社アークマウントコーポレーション



- ・一般商業印刷(パンフ・チラシ・冊子)
- ・行政広告媒体発行(広告付封筒・カレンダー等)
- ・販促支援企画提案・ウェブ活用広報戦略

内科/消化器内科/リウマチ科

柏木内科医院

院長 柏木 陽一郎

〒802-0064 福岡県北九州市小倉北区片野2-21-10
tel 093-921-7943 / http://www.kashiwagi-naika.com/

自家焙煎珈琲豆・ハンドリップ・LUNCH・BEER・各種PARTY



福岡県北九州市小倉北区浅野2-12-8 2F
TEL/FAX 093-953-9118 OPEN 11:00~23:00

ロシナンテス 応援企業